

1. 『住みたいと思わない街に住んでいる私』

私は今回の留学でSDGsの11番の課題である『住み続けられる街づくり』について取り組んできました。私がこの課題に着目した理由は「住み続けられる」という言葉でした。この言葉にとっても惹かれました。ですが実際は、どのような事が住み続けられるまちづくりに繋がるのか全くわからなかったのでどういう事なのかと思い調べてみました。そこに出てきた課題の内容は、電気やガス、水の使い過ぎに注意する事。地域の文化遺産を大切にすること。ゴミを減らす事。など沢山私たちが取り組める課題がありました。その中でも特に私の目を引いた課題がゴミを減らす事でした。では、ゴミを減らす事でどのようにして住み続けられる街をつくる事ができるのかと考えたところ、今回の課題で私自身がいま現在住んでいる地域にはこれからも住み続けたいとは思っていない事がわかりました。何故住み続けたくないのか理由を考えた時に出た答えが、「ゴミ」が原因だと思いました。私の地域に住んでいる人の人柄の悪さもありませんが、それと比例するぐらいに沢山のゴミが落ちていて街が汚れているからです。タバコの吸い殻も落ちていて、コンビニ弁当が入った袋をそのままポイ捨てる人もいます。私がこの地域に住み続けたいと思わない理由はゴミだったのです。

もし、引っ越しをする事になったら喜んで引っ越しをします。今はこの様に考えてしまうほどの私が、これからこの地域に住み続けたいと思う様になるにはどのようなことをしたら良いのかを考える良いきっかけになると思うと考えた事から、SDGsの11番の課題が私に一番当てはまる課題だと考えたからです。

もちろんこの地域に住んでいる全員の人たちが街を汚している訳ではありません。全員が人柄が悪い訳でもありません。きちんとゴミの日の決まりを守りお掃除をしてくれる人もいます。挨拶をすれば返してくれたり、この町内で最近起こった出来事を教えてくれたりする人もいます。そんな親切な人々がいる中で街を汚す人は汚します。コンビニ弁当が入ったゴミ袋をポイ捨てる人もごく一部の人が行っている行為です。このごく一部のたった数人の悪目立ちしてしまう行為でいやな思いをしている人がいます。私もその中の一人です。

私が思うこの街の悩みは、ゴミの日になるととても汚くなる事です。私の地域は田んぼが目前にあります。稲作の時期の前後には特に鳥が沢山飛んできます。鳥嫌いな私からするととても生活しにくいです。稲作前後には田んぼには雀や鳩がいて、道路にはカラスが沢山いる状態です。カラスは特にゴミをあさるのでゴミがあちらこちらに広がってしまいます。その広がったゴミを他の鳥が食べにきます。なので一度ゴミを広がってしまうと、もっと広い範囲にゴミが広がってしまうのです。そうすると車や人が通りにくくなってしまいます。その対策としてネットをかけるように指示されていますが、中にはネットをかけてくれない人もいます。この事が道路にゴミを広げてしまう原因だと考えています。他にもゴミの日を勘違いしているのか、ゴミの日がわからないのか、ゴミの日ではないのにゴミ収集場に置いてある事もあります。

タバコの吸い殻は現在、少しずつではありますが少なくなっていると思います。私が小学生の時はとてもひどい時には、道路の排水溝の中にタバコの吸い殻が沢山捨ててありそこが見えない状態になっていました。この時と比べたら綺麗な地域になったとは思いますが。しか

し、この地域よりも綺麗な地域は沢山あるのでもっと見習うべきだと思っています。同じ茨城県でも綺麗な地域はとても綺麗なのでとても羨ましいです。なので、今回の韓国留学で私が日本で住んでいる地域がより良い環境になり、より良い地域になる為に改善できる解決策やヒントを一つでも多く見つけてきたいと考えたからです。

私が留学する前に韓国から常磐大学に留学に来ていた韓国人の友人に韓国でのSDGsの取り組みを聞いてみたところ、韓国ではあまりSDGs自体が知られていないのが現状だそうです。しかし、そんな中でも企業が取り組まれている事を教えてくれました。沢山のの人にその地域に住んでもらうために、会社の本部をソウルだけに集中させて建設するのではなく各地域に建設しているそうです。他にも、ライブ会場も各地に建設して有名なアーティストを呼んで開催しているそうです。この韓国の企業が行っている取り組みを知って、若者のことを考えてSDGsに取り組んでいると思いました。日本はどちらかというと、お年寄りに寄り添って考えや取り組みが多い様に感じているので日本に住んでいる私からしてみれば、日本と韓国で着目しているしている視点が大きく違うんだなと思いますとても新鮮で。何か良いヒントが見つかるかもしれないと思いました。

ですが、この地域も今は新しい家がどんどん増えています。昔は雑木林だった場所には沢山のゴミが捨てられていました。ペットボトルや家庭内のゴミ、大きなゴミで自転車や洗濯機などが捨てられていました。そんな場所でも綺麗にすれば家を建てられる程に見違える事ができる事がわかりました。ですが、自然が減ってしまい緑がほとんどなくなってしまいました。家が建ち新しい人が沢山住んでいます。そして、小学校と中学校は元々近くにありましたが去年ぐらいから保育園ができました。私が留学に行っている間にも3軒の家が建っていました。今になってこの地域は変わろうとしているのかもしれませんが。私の家は今のところ引っ越し予定はないので、私が今住んでいる地域活性化のお手伝いができたら良いと思っています。私の家族や親切なご近所さんの為にと思って、韓国で観てきた事や知った事、取り組みなどをこの地域のこれからの活かせる様に一つでも多くの物事を見つけてきたいと思ったからです。

計画としては、韓国に到着してから1ヶ月の間で街にはゴミが落ちていたのか。それほどのようなゴミで、どのくらいの量なのかを調査します。

2ヶ月目では、ゴミが落ちていなくても、近くにあるコンビニエンスストアの様子や他のお店の店内の様子や客層などを調査します。何故、街のお店やコンビニエンスストアの様子を見るのかというと、その街にあるお店を見る事でその街の人柄や街の様子がわかると日本では言われているからです。

3ヶ月目は、本社を各地に建てる事とライブをソウル以外で行う事の以外に私が留学していた地域が行っている事は何かを調査し、最後の4ヶ月目でその地域に住んでいる人はどのようにSDGsに取り組んでいるのかを調査します。この様な順番で調査しました。しかし、この順番通りに調査出来ない事は沢山ありました。この課題を成し遂げる事は出来ないと思った事もありました。しかし、自分では気づけなかった事を韓国の大学にいる日本人の先生に教えてもらう機会があり、新しい発見が出来ました。日本に帰ってきたら留学に行く前に調べた事と留学に行って知ったことや学んだ事を比較しようと考えました。そして、それを今の茨城県や私が住んでいる地域に伝えられる事、取り入れる事ができる事から取り組んで行きたいです。大変な事だとは思いますが、韓国に留学してチャレンジ精神と失敗してももう一度挑戦するリベンジ精神を磨く事ができました。それに私自身が少なくともあと2年は

住み続ける地域ですし親切なご近所さんの為にできる事から取り組んで行きたいと考えています。(3055字)

2. 『実際に見た韓国の街』

韓国に実際に行って気づいた事は韓国の街も汚いということでした。正直、日本と比べたら韓国の方が汚かったです。日本の街が綺麗と外国人から言われる理由がわかりました。ゴミが落ちているのは汚いですがお店の雰囲気や外観などはとても綺麗でした。ソウルの街は高層ビルが沢山あり若者が集まる街でまさに都会という雰囲気でした。現在でも高層ビルは沢山造られています。仁川空港から大学の寮へ向かう時に大きな橋を渡りました。東京にあるレインボーブリッジよりも大きく長かったです。その橋を渡り切ったところに街が広がりました。そこでは沢山のマンションや会社があり日本ではなかなか見ることのできない高さの建物が何棟もありました。私が留学していた大学の地域にももちろん高い建物はありましたが、ソウルほどの高さではなかったです。都会であるソウルとの違いだと思います。しかし、ほとんどのお店は二階建てで4階建てのカフェもありました。カフェだけで4階あることに驚きました。韓国のお店は一つの建物に3店舗程が各階数にありました。

韓国の都会はソウルだけでなく、釜山という地域も都会です。私は実際に留学中に釜山へ遊びに行きました。釜山の海はとても綺麗で透き通っていました。私が人生で見た海の中で二番目に綺麗な海でした。その海の近くに大きな高い建物がありました。とっても感動してしまったので、一緒に釜山旅行に行った韓国人の友人に一体どんな建物なのか聞いてみたところ、それは高層マンションだと教えてくれました。釜山は韓国の中でもとても人気があり多くの韓国アイドルの出身地でもあり観光客が多く訪れる地域なのでどうしてこんなにも海が綺麗に透き通っているのだろうと思いました。この海とマンションをみて私もここに住みたいと思ってしまいました。それほど釜山は魅力あふれる街でした。もう一度韓国に行ったら釜山を中心に回りたいと思うほど私は釜山の街の雰囲気に魅了されてしまいました。

しかし、韓国の街にもポイ捨てという形で後物が落ちていました。カフェで使用されているプラスチック素材のカップが沢山ありました。韓国は日本とくればカフェが多くあります。沢山カフェはありますが、ゴミ箱がありません。日本はコンビニエンスストアが沢山あり各店舗ひとつひとつ外にゴミ箱が設置してあります。韓国にもコンビニエンスストアはありますが、日本ほど店舗の数は多くなく商品も日本の様に充実していません。ゴミ箱は店内に設置してありました。韓国はコンビニエンスストアよりもカフェの方が圧倒的に多いです。カフェの営業時間も日本より長く大体10時から開店で24時に閉店していました。カフェは基本的には朝早くから夜遅くまで営業していました。仁川空港近くのホテルに宿泊した時、隣接していたカフェは朝7時から23時までの営業でした。かなり営業時間が長くて驚きましたが、その日は21時くらいにホテルに到着したので夜遅くまで営業していたのはとてもありがたいなと実感しました。韓国人がカフェ好きで良かったです。日本の場合、21時にはカフェはとっくに閉まっている時間だと思います。

そして私は韓国の私は韓国のコンビニエンスストアで驚いた事があります。それは、ラーメンの残った汁を捨てる事ができるゴミ箱がある事です。これはとても良いなと思いました。コンビニエンスストアでアルバイトを経験した事がある私は店員側の立場でも考えてしまうので捨てるのが大変そうだなと思ってしまいました。ラーメンを食べるお客さん側は良いですけど、それを捨てる店員さんは大変な思いをしているんだろうなと思いました。ですが、韓国の店員さんも営業中にレジのカウンターでラーメンを食べていました。他にも店員

さんに驚く事が沢山ありました。レジカウンター内に椅子があり、お客さんが商品をカウンターに置くまで椅子に座っていたり、スマートフォンでゲームをしていたり自分の好きな曲を流していたりと日本よりも自由にしていました。日本の接客業の凄さも分かりましたが、韓国の方が働きやすそうだなと思いました。韓国の接客を見てから日本の接客はやり過ぎなのではないか、お客さん側も店員さん側に求めすぎなのではないかと思う様になりました。

そして韓国で一番見たゴミは、タバコの吸い殻です。これが本当に多かったです。街中にある排水溝の中にもタバコの吸い殻が沢山入って底が見えない状態になっていました。私が住んでいる地域も私が小学生の時に同じような状況がありましたが、排水溝が満杯になるほどではなかったです。韓国の排水溝を見てとても驚いてしまいました。ですが、歩きタバコをする人は見なかったです。何故、歩きタバコをする人を見ていないのに吸い殻が沢山あるのか気になりました。そこで韓国の大学にいる日本人の先生にSDGsについて調べていることを伝えたら、私が気付かなかったタバコのことを教えてくださいました。それは、飲食店のことでした。韓国の飲食店は日本のように喫煙席と禁煙席で分かれています。全席が禁煙になっているので、タバコを吸いたい場合はお店の外で吸う様になっています。しかし外には灰皿が設置されていません。なのでそれが理由で外にタバコの吸い殻をポイ捨てしてしまうのではないかと考えています。日本の様にコンビニエンスストアにも設置されていません。大学内に喫煙所はありますが、常磐大学の様にひとつの部屋になっているのではなく、ただ灰皿が置いてあるだけでした。喫煙所のスペースもそれほど広くないので多くの学生が密集しています。なので、灰皿が近くにある場所を見ると白っぽい空気になっています。学生の喫煙者は常磐大学よりも多かったです。ですが、中には、タバコの火を消さずにポイ捨てする人もいました。近くに芝生もあり火事になっては大変だと思いました。幸いその道を通った人が偶然にもタバコを踏んだので火が消えたので火事になることはありませんでした。その様なことが沢山あったのか、寮内の放送で「タバコの火をきちんと消して、吸い殻は灰皿に入れるように」と言う内容の放送が流れました。

また韓国では、お酒を買う時とタバコを買う時に必ず身分証明書を店員さんに提示しなくてはなりません。飲食店でお酒を飲む時も店員さんに確認されます。そして、ゴミ置き場にはネットがありませんでした。その理由として私の考察ではありますが、鳥が少ないからだと考えました。滅多に街中で鳥を見る事はありませんでした。私が日本で住んでいる地域はカラスが沢山いるのですが韓国では2階ほどしか見ていません。鳩も全く見た事がなかったです。だからネットをかける必要がないんだと思いました。ですが釜山には、鳥が沢山いました。餌をあげる人がいるので、沢山の鳥がきているのでしょう。それに、韓国のゴミ回収の時間は日本とは違い遅い時間帯に行っていました。かなり暗くなってから作業が行われていました。大学の寮のゴミ回収は朝早くから行われていました。

そして韓国で4ヶ月生活してポイ捨てをする人が多いのがお年寄りであることが分かりました。私がポイ捨てを見て驚いた光景は、お婆さんが孫の食べ終わったお菓子のゴミをその場に捨てた事です。もうひとつはおじいさんが飲み切ったカフェのカップを茂みに投げ入れた事です。その二つの出来事を見た時はとても驚きました。どちらも目の前で見た光景だったので今も鮮明に覚えています。一緒にいた友達と顔を合わせてしまいました。

他にも『住み続けられるまちづくり』への取り組みとして行っている事を韓国人の友人に質問したところ、若者が都会に行ってしまうのは就職が理由で都会に行く事が多いんだそうです。やはり、大手企業に就職を目指して本社がある都会へと移ってしまうと言うケースが多いでしょう。これは日本でも同じ事が起きていると言えます。なので会社の本社をソ

ウルだけではなく地方に建てる事で若者が都会に就職する機会を減らしている様です。他にもライブを開催する会場をソウルだけでなく地方でも開催するなど、若者が興味や関心のある物事を中心にできることを行っているそうです。(3330字)

3. 『両国の良いところを取り入れよう』

日本にはカフェが少ないのでカフェのカップのゴミが少ないですが、韓国はカフェが多いのでカフェのカップのゴミが多く捨てられていました。反対に、日本はコンビニエンスストアが多いのでそのゴミが多いです。この事から私の考察では、お店の数とゴミの量は比例していると考えています。

タバコやお酒に関して韓国は毎回、身分証明証を店員さんに提示しなくてはなりません。このルールはとても厳しいと思いました。ですがとても良いルールだと思っています。飲食店でも必ず毎回身分証明証を提示しなくてはお酒が飲めません。日本も韓国のようにお酒やタバコを買う時に身分証明証を提示するのが義務付けるのが良いともいます。日本の場合には見ただけで怪しいと思ったら身分証明証の提示をお願いします。ですが、ほとんど提示する事はありません。大人っぽい未成年は購入する事が出来てしまいます。提示するのはコンビニエンスストアではなく夜遅くまで営業しているドラッグストアです。私自身、お酒を買う時に身分証明証を提示したことがありませんでしたが、先日23時ぐらいにドラッグストアでお酒を購入する際に初めて身分証明証の提示をお願いされました。初めての出来事で驚きましたが、自分が大人になったことを改めて実感しました。もしも、未成年にタバコやお酒を販売してしまった場合は店員さんの方が悪くなってしまいます。店員さんは大人だと思い販売したが買った人は未成年で、店員さんが悪くなってしまふことを防ぐ為に未成年の飲酒、喫煙を防ぐ事ができると思います。身分証明証を提示することで未成年の飲酒、喫煙が問題にならないと思います。

そして何より驚いたのが、韓国はほとんどと言って良いほどSDGsが知られていませんでした。韓国人の友人に「留学の課題でSDGsについて調べることがあるんだけど、SDGsって知ってる？」と聞くとほとんどの人が「SDGsって何？知らないよ」と答えました。それを知って驚きましたがそれと同時にSDGsは企業が行う事なんだと改めて思いました。それから、私はSDGsの課題内容を変更しようと思いましたが、最後まで変更する事なく課題に取り組む事が出来ました。ですが、ゴミの分別はかなり厳しく行っていました。大学の寮のゴミ箱に『プラスチック』を捨てるゴミ箱がありましたが、そこにはペットボトルしか捨てられませんでした。カフェのカップは『一般ゴミ』に捨てていました。私はこの事を知る前は、カフェのカップをプラスチックのゴミ箱に入れていたので知った時は驚きました。その時、カップを大量にプラスチックのゴミ箱に捨てていて、寮の掃除をしてくれる方がカップをプラスチックのゴミ箱から一般のゴミ箱に移していたのでとても申し訳ない気持ちになってしまいましたが、とても不思議なゴミの分別だなと思いました。

留学する前に韓国人の友人が教えてくれた、若者に人気なアーティストのライブを地方で開催する意外にも会社の本部を地方に置くと言う考えは、私も思いつきませんでした。若者の興味や関心のあるものをSDGsの課題の取り組みに取り入れるのは良い事だと思いました。ぜひ、日本もライブ会場と会社の本部を地方に建設する事を考えてほしいと思います。

韓国の大学は敷地内がとても広く学生も多いのですが、そこにある灰皿は少ないです。学生の喫煙者は多いのに喫煙所のスペースも狭いので人が密集してしまいます。なので大量の煙が広がります。数人の煙が風で流れてくるのは仕方がない事だと思っていますが、一度の

風で大量の煙を被るのは本当に良い気はしませんでした。日本ではそんな経験を滅多に経験する事はないので、私的にそれがとても嫌でした。できれば常磐大学の様に一つの部屋になっている喫煙所をつくってほしいなと思いました。韓国のタバコは日本のより匂いがキツく濃いと感じたので、服や紙に匂いがついた時はとても自分からタバコの匂いがとてもキツく匂いました。

日本ではなかなか見ることが出来ない、ソウルや釜山で見た高層ビルやタワーマンションが建設できる理由は韓国では日本の様に地震がほとんどないからだと考えました。地震のある国とない国では建設できる建物まで変わってくる事が分かりました。私が韓国に行っていた4ヶ月間も地震が起こった事がなかったです。韓国は自然災害があまりないのかなと思いました。地震もなければ、台風とかもあまり経験した事がないのではと思ってしまった時がありました。私が韓国にいる間に一度だけ大きな台風が通りました。その台風の影響で私たちの寮の近くの木が一本根本から折れてしまいました。それほど大きな台風だったので、前日に寮の放送で念の為の非常食を準備しておく様にと放送されたので、私たちもコンビニエンスストアへ向かいました。店内にはもうすでに沢山の人がいてもう食品がないかもしれないと思っていましたが、非常食になるチョコバーが沢山ありました。韓国人の方々が買っていたものは、電子レンジを使用しないと食べられない物だったりやお湯が必要だったりする食べ物ばかりで、もし停電してしまったら何を食べるのだろうかと思ってしまいました。

韓国のタバコのパッケージはかなり力を入れていました。いくつかの写真を使用してタバコを吸うことで自分自身が健康では無くなってしまふ事を伝えているんだと思います。その写真はかなりグロテスクなものでした。それを隠す為なのか、タバコケースも販売されていました。タバコの吸い殻は韓国の方が多ですが、普通の一般ゴミは私の地域の方が多いです。そして韓国の大学の構内には常磐大学の様にSDGsの呼びかけが一つもありませんでした。なのでSDGsはどの様なものなのか、どの様な取り組みを行っているのか、どの様な事が課題なのかがわからないそうです。

私の課題の中の2ヶ月目の内容にある、コンビニエンスストアの様子でその街の様子や人柄がわかると書きましたが韓国では分かりませんでした。これは日本だけで見ることが出来る事でした。韓国には日本のようにコンビニエンスストアで無意味に集まる人たちがいませんでした。

今回の留学で見たこと経験したことを日本と比較してみても思った事は、お互いの国のルールを取り入れる事でもっと良い街に出来る事という事です。韓国の飲食店では飲食店の席を全部禁煙にして吸いたい人は外に出てもらふ事と、日本のお店の様に外に灰皿を設置する事を合わせると店内でタバコの煙を感じる事なく美味しく、楽しく食事を楽しむ事が出来ます。外に吸い殻も落ちていないので外にポイ捨てされる事がなくなると思います。既に行っているお店もあると思いますが、両国の全部のお店で行う事でタバコの吸い殻のポイ捨てをもっと減らす事ができると思いました。そして、私が留学に行っている間に私の地域で町内清掃という活動が不定期で行われるそうです。既に一度行われていて私の両親も参加したそうです。次回行われる時は私も参加しようと考えています。なので、韓国の地域でも行ってみるのも良いと思います。特に韓国の大学内も学生も参加できるイベントをつくってみるのが良いと思います。とても構内は広いですが、景色が綺麗で銀杏の木も沢山あり秋になると一面は黄色になってとても秋を実感する事が出来ます。そんな綺麗な場所だからこそ、取り入れてみるのも良いのではないのでしょうか。

(3020字)

4. 『これからの日本・茨城県の為にしてほしいこと』

現在、水戸には「水戸市民会館」という建物が建設されています。完成後はその開場成人式を行ったり有名なアーティストが沢山ライブを行ったりする予定です。私が留学に行っている間に予定が決定された様です。今、ライブが予定されているアーティストもかなり有名な方々ばかりです。留学に行く前に韓国人の友人から聞いた韓国のSDGsの取り組みのひとつである、ライブをソウルでばかりで開催するのではなく地方でも開催する事で若者にもっと注目してもらい住み続けてほしいという取り組みを茨城県でも取り組まれていました。少しずつですが茨城県は進化していると実感しています。これからの茨城県がとても楽しみです。茨城県にライブをしに来たアーティストとそのライブを見に来たファンの方々に茨城県で素敵な思い出を作ってもらおう事で、茨城県をもっと知ってもらえる良いきっかけになるのではないかと考えています。そして茨城県民はもっと茨城を知ってもらおうとネットやSNSなどを利用して情報を発信する人や企業が増えてくれると思います。そこにもっと茨城県を知りたいと思う人が増えると思います。そのようになる為に、綺麗なまちづくりとして清掃イベントをつくったり若者たちが目を引くような環境やイベントをつくるのが良いと思います。

そして日本に提案したい事は、上記でも何度も取り上げている韓国様にお店でお酒やタバコを購入する時には必ず身分証明証を提示する事です。飲食店で飲酒する場合も提示するというルールを作ってほしいと思っています。未成年でも大人っぽく見える人は購入する事が出来てしまいます。未成年の飲酒、喫煙を禁止しているならばこのような対策を試みるのも良いと思います。時には年配のお客さんに「何故、提示しなくてはいけないのか」と理不尽に怒鳴られてしまうかもしれません。ですがその対策としては、例えばですが30歳を過ぎたら提示しなくて良いという考えがあります。この様なルールがあると良いと思います。

次は茨城県に対しての個人的な意見になってしまうのですが、水戸にもっとカフェを増やしてほしいです。大手企業のコーヒーショップではなくて、コスパの良い勉強や作業するのに適している環境で夜遅くまで営業しているカフェを作ってほしいと思っています。遅くと言っても20時までくらいの営業で良いです。茨城県は図書館が多いと思います。なのでその図書館に隣接したカフェや図書館の一部をカフェにするなどが良いと思います。カフェを設置することで、コーヒーを飲むことが出来ます。コーヒーの香りはリラックス効果もあり勉強や作業をして疲れた時に、カフェから香るコーヒーの匂いでリラックスできると考えています。図書館なので静かにしなくてははいけません、小さい子供も図書館を利用します。なのでできれば、スタディーカフェというカフェが一番良いと思います。このカフェは勉強したい人や作業したい人に提供する場所です。このカフェを利用してほしいターゲット層は、今を築き上げている人たちや、これからの未来を創っていかようとしている学生たちです。私は、そんな人々にとってコスパの良いより良い環境を提供するカフェをイメージしています。できれば常磐大学の構内にもこの様なカフェをつくってほしいです。ここで大手企業のコーヒーショップを起用しない理由は、コーヒーだけを楽しむ場所になってほしくないからです。勉強や作業のお供にコーヒーを楽しむ場所を提供したいからです。

今回の留学で私自身も沢山カフェを利用しました。韓国人の友人と遊ぶ時もカフェで沢山お話ししたり、一緒に食事した後にカフェでコーヒーを楽しんだりカフェでのコミュニケーションがあった事で、韓国語が上達したと思っています。それに勉強する時も近くのカフェに何度も足を運びました。そのカフェはとても過ごしやすく、居心地も良かったです。テスト期間になると多くの学生がカフェを利用しに来ていました。自分以外の学生が勉強に励ん

でいたので自分も自然と勉強が捗りました。なので一日中カフェにいた日もあります。勉強に適した環境があるととても勉強が捗る事が分かりました。私がよく行っていたカフェは10時から24時まで営業していたので、夜遅くまで勉強や作業している人たちもいました。夕食後に同じ寮の友人と一緒にカフェに行って食後のコーヒーを楽しむ事もありました。

もちろん日本にもこの様なカフェはあると思いますが、都会ばかりで茨城県にはないです。なので是非、茨城県にもつくってほしいのです。都会ばかりに良いものや若者が興味、関心のあるものが集中しているので、若者は都会へと流れて行ってしまうのだと思います。会社も同じです。ほとんどの大手企業が東京にあり、東京以外では、大阪や神奈川県横浜といった都会ばかりです。若者が都会ばかりに集中しない様に日本も韓国のように本社を地方に置いてみるのも良いのではないのでしょうか。

もう一つ提案があります。それは動物の殺処分をゼロにする事です。2021年度茨城県は保護犬の殺処分がゼロで保護猫が1匹でした。これからは保護犬や保護猫の殺処分がゼロになるように、そしてそのゼロがずっと続く為に出来る事があると考えています。

私が韓国に留学している時に知った事なのですが、韓国では保護犬や保護猫がいる施設でボランティア活動が行われています。それを知った時日本でも同じような事が行われているのかと思い、調べていました。調べたところ、実際に行われてはいますがどの様な活動をしているのかや、いつ行われているのかが分かりませんでした。できることなら私も参加したいと思っています。私の家族は犬が好きで、もし犬を迎える事になったら保護犬を迎えたいと考えています。両親の許しが無いので今は犬を家族に迎え入れる事が出来ませんが、何かお手伝いできれば良いなと思っています。他にも私のように保護されている犬や猫を減らしたいと思っている人や、家族に迎える事は出来ないけど保護されている犬や猫の為に出来る事がしたいと思っている人は沢山いると思います。なのでもっと大きな呼びかけをする事は出来ないのでしょうか。ボランティア団体はある様ですが、ボランティア活動を行う日程等はなくただボランティア団体への支援をしてほしいという呼びかけしかありません。本当に活動を行っているのかと疑ってしまいます。自分達の勝手な理由で捨ててしまう人もいますが、保護されている犬や猫が幸せな新しい家族に迎えられる様に少しでも多くの手助けがしたいと思っている人は沢山いるはずで。大学の構内に張り紙をしたり保護施設のホームページなどで呼びかけてみてはどうでしょうか。ボランティア活動の内容としては、施設内の掃除や人に触れ合う事に慣れている犬たちの散歩などができると思います。参加人数が多ければ多いほど出来る事が増えると思います。私も参加する機会があれば参加したいと考えているので、ボランティア団体のホームページや保護施設のホームページを随時チェックしています。他にもSNSを使って探しています。なので是非、保護犬や保護猫のボランティア活動をSNS等を利用してもっと大きな声で呼びかけてほしいです。きっと参加してくれる人は沢山います。この提案に是非、取り組んでほしいです。

(3001字)